

明日をつむぐ



社会福祉法人 みなと福社会報

Vol.102

2026年

新春号



特集 P4・5

今年わたちの目標

CONTENT

年頭所感	P2
グループホームの交流会報告	P6
がんばるデイの参加報告	P6
被災地支援の報告	P7

発行：社会福祉法人みなと福社会

〒455-0803

愛知県名古屋市港区入場1丁目114番地1

TEL. 052-355-8000

FAX. 052-355-8008

みなと福社会

検索



2026年 年頭所感

社会福祉法人みなと福祉会 理事長 石川修



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、関係者のみなさまにはたいへんお世話になりありがとうございました。

世界では、戦争や紛争がつづいています。いったん始めた戦争を終えることが、どれだけ困難か。戦下で暮らす人たちの苦しみはどれほどか。平和と命をまもるとりくみは、世界の緊急の課題となっています。

国内では、昨年秋に発足した新しい政権のもとで、これまで国の基本としてきた平和主義を軽んじるような発言や政策が矢継ぎ早に出されています。平和な社会でこそ福祉が大切にされるという貴重な歴史の教訓をかみしめたいと思います。

社会保障をめぐるのは、旧優生保護法の違憲判決を受け補償法が成立しましたが、被害者への実際の補償はほとんどすすんでいません。昨年6月の生活保護法の保護基準の引き下げに対する最高裁での違憲判決も、その後の政府の対応は司法の見解を軽視し、あらたな差別を生む内容になっています。障害分野でも、実態にもとづかない総量規制や、物価高がつづく中でも更なる報酬制度の効率化が検討されています。つづけて現場からの声を届けていくことが一層、大事になってきています。

昨年は、法人設立35年目の年でした。現在16の事業所に200名を超す障害のある方たちが利用しています。

事業面では、うろじの家において利用者が育てた野菜を使った、あたらしい商品の開発をすすめてきました。わーくす昭和橋では、これまでのつながりを生かして商品の販路をひろげることができました。しおかぜ作業所では、税関ビルの食堂での昼食提供や地域の方々の配食事業をつづけてきました。放課後等サービスさざなみでは、季節ごとの行事など家族もま

きこみ、ていねいなとりくみをかさねてきました。

みなとホームとあしたの家では、365日の支援のために懸命に奮闘してきました。イルカ作業所では、数年ぶりにまつりを復活させ地域のみなさんから、たいへん好評をいただいたところです。それぞれの事業所において、確かなあゆみを刻んだ1年でした。

また家族のみなさんとのつながりでは、はじめて法人主催で家族のみなさんとの懇談会を開催しました。事業所単位でも、家族の方たちとの懇談会を定期的におこない交流を深めてきました。

今年、最も大切にしたいのは安定的な体制の整備です。人と向き合うことを使命とするケア労働は、とくに支える職員の確保と成長が鍵になります。働きやすい職場づくりや、働きつづけられるための条件の整備を一步でも前にすすめながら、体制の充実にむけて努力したいと思います。みなさまも、お知り合いの方などの紹介をおねがいします。

事業所には、様々な障害や年齢の方たちが利用しています。強度行動障害や重症心身障害の方、高齢になり車椅子が欠かせなくなった方など。また家族での介護がむずかしくなっている家庭も年々増えてきています。一人ひとりの不安やねがいに、しっかり寄り添っていきたいと思います。

2026年度は、5カ年ごとの中期計画の初年度にあたります。現在、策定委員会で検討がすすめられています。委員会で出されたキーワード「つながり」をひろげながら、あらたな計画の実践とともに、平和を守り社会保障および障害のある人たちへの公的福祉の拡充をすすめるとりくみにも力をそそいでいきたいと思っています。

みなさまのご支援を、ひきつづきよろしくおねがいいたします。

笑顔 みつけた!

Vol.18

みなさん よろしく

しおかぜ作業所
長友裕樹さん



ルのデザインに採用されています。

甘いマスクにソフトな雰囲気、愛嬌のあるキャラでしおかぜ屈指の人気者、長友裕樹さんにインタビューしてみました。

生まれも育ちも名古屋。小規模作業所うるじの家を経てしおかぜ作業所で長く働いています。

最初は木工グループに所属しており、糸のこぎりで木を切ったり、やりで木をつるつるにする仕事をしていました。

その後、療育グループに異動となり、ミシンと刺しゅうタオルの模様のデザインや、弁当配達を担当しています。

ミシンではタッチパネルを操作し、タオルを一枚一枚丁寧に仕上げています。

弁当配達ではホワイトボードを使って配達先や件数を管理するリーダーの役割を任されています。また、お客様の自宅に伺い空弁当の回収をする仕事にも取り組んでいます。

デザインの仕事が入った時は色鉛筆とスケッチブックを使いこなし、素敵なイラストを描き上げます。裕樹さんの描いたイラストは夏季・冬季物資タオルやみなと一りで販売しているタ

趣味はゲーム。余暇支援で出かける際はゲームソフトを購入しています。お気に入りのゲームは「ドラゴンクエスト」。攻略で苦戦する時はホームの世話人さんに相談しながらプレイすることもあったか。

カラオケも大好きで、しおかぜ作業所での創作活動ではキンキキッズの曲やアニメソングを熱唱されています。

カラオケも大好きで、しおかぜ作業所での創作活動ではキンキキッズの曲やアニメソングを熱唱されています。

Q 一番楽しみにしている行事を教えてください

↓カラオケ大会（しおかぜ作業所のみんなで）

Q 休日に行ってみたい場所がありますか

↓ナゴヤドームのイオン、大高のイオン、ジブリパーク

インタビューにご協力ありがとうございました。裕樹さん、これからプライベートもしおかぜ作業所で過ごす時間も、笑いの絶えない楽しいものになっていきましょね！



イルカ作業所
住田世里香さん

職員紹介

みなと
わたし

Vol.18

Q みなと福祉会に入職したきっかけは何ですか？

大学のゼミの先生からのお誘いで、みなと福祉会の実践交流会に参加しました。また就活中も説明会に参加させていただきました。その後、ご縁があつてみなと福祉会に就職することになりました。

Q 普段の仕事はどんなことをしているのですか？

私が所属するグループでは、箸・ほうぎの組み立ての下請け、ふきんの製造を仲間たちが取り組んでいます。私は、仲間への声掛けはもちろん、箸・ほうぎでは本数や決められた重さのチェック、ふきんでは規格の幅どおりに縫えているのかの確認や、ミシンの調子が悪い時の調整をしています。また、規格の幅で縫えていないときは仲間と確認し、どのようにしたら良いのかアドバイスをしたりしています。

Q 仕事をやっていて嬉しいことは？

仲間たちが頑張つて作ったふきんが売れたときや、休み時間などに仲間たちとの関わりの中で、あらたな面が見られた時です。また、以前に担当していた仲間が廊下ですれ違ったときに声をかけてくれるのもうれしい瞬間です。

Q 休日は何をして過ごしていますか？趣味は？

休日は、自転車で行ける範囲に大型商業施設があるため買い物に行ったり、配信サイトで配信を見たり、まつたりしたりとその日にやりたいことをやっています。趣味は音楽を聴くことで、毎年大好きなアーティストのライブには必ず参加しており、昨年は4本のライブに参加しました。今年も、すでに一本のライブに参加することが決っているので楽しみにしています。

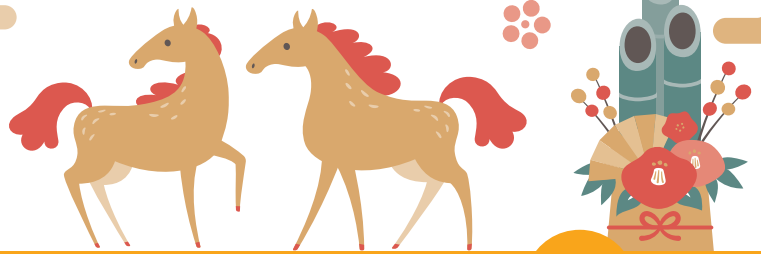
Q 今後やってみたいことはありますか？

趣味が少ないので、新しい趣味を探したいです。自宅でも気軽にできる趣味が良いものがあれば教えてください（笑）

Q これからの抱負をお願いします。

みなと福祉会に入職して、あつという間に5年が過ぎ、気づいたら今年の春で6年目となります。これまでよりも、広い視野で周りを見ながら無理のない範囲で仕事に取り組み、さらに仲間との信頼関係を築いていきたいです。

新しい年がスタートしました。
それぞれの事業所の今年の目標を
発表していただきます。



いおかぜ作業所



ひと言コメント 12月の土曜開所で仲間たちの意見を募りました。仕事に対する思いがあふれた仲間たちを表現した素敵な作文が完成しました。

- ① 仕事を頑張って給料をもらいます
- ② 大きな声でお客様にあいさつをします
- ③ 風邪をひきません
- ④ んりよくでがんばります

さずなみ



ひと言コメント 子どもたちの無邪気な発想力や創造力のゆたかさに毎日おどろかされています。たくさん刺激を受けながら、みんなでワクワクを常にさがしています。

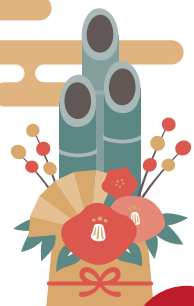
- ⑤ あ、みんなの
- ⑥ 斬新な発想力を活かして
- ⑦ にかワクワクすることを
- ⑧ んなで見つけに行こう！

わーくす昭和橋



ひと言コメント 何事も健康が一番。規則正しい生活を心掛けると心も身体も清々しい気持ちになります。一年は馬が駆け抜けるように過ぎていきます。今年は、心と身体に優しく、ウマくバランスをとっていききたいですね。

- ⑨ しっかりと6～8時間は寝るようにしましょう
- ⑩ く噛んで3食食事を摂るようにしましょう
- ⑪ 運動をする習慣を身につけましょう
- ⑫ 笑って一日一日を過ごしましょう



2026年 今年のわたたちの目標

あしたの家

- ① すにつながる
安心・安全な暮らし
- ② ごとにやりがい
余暇にうるおい
- ③ いせつにする仲間の想い



ひと言コメント 仲間の想いを大切に、仕事も、生活も“自分らしさ”なスタイルで、元気に！楽しく！過ごしていきたいです。

イルカ作業所

- ① ろんな笑顔を積み重ね
- ② いをみないチームワークで
- ③ ならず「できる」を増やしていこう!!!



ひと言コメント イルカの素敵なのは、チームワークの良さ!!! 2026年は今以上に一致団結しているいるなことに挑戦していきたいです(^ ^)!!

うろじの家

- ① うれしい笑顔 たくさんあふれ
- ② ロマンあふれる
- ③ 自分たちが主役の一年にしよう!!



ひと言コメント 2026年は本格的にスープ事業にとりくんでいきます。皆さんにロマンあふれる!?おいしいスープをお届けして、うれしい笑顔がたくさんあふれるといいなと思います。

きょうされん第49次署名はじまる がんばるデイに参加しました

12月3日(水)、名古屋駅西口にて、きょうされん第49次国会請願署名募金活動がおこなわれました。

みなと福祉会からは、仲間4名と職員6名が参加しました。

当日は寒さもいくらか和らぎ、のぼりや募金箱、署名用紙を持つ手もかじかむことなく参加することができました。「障害がある人が安心して暮らせる社会づくりにご協力お願いします!」と声をあげ、道行く人々へ訴え続けました。

関係団体や加盟事業所の利用者、職員などがスピーチを行ない、活動内容の紹介や制度の課題、日々の困りごとなどを訴えました。

うるじの家からは、なかまの会会長が所長からのインタビューにこたえるかたちで、今の生活の状況や将来の不安について話しました。支援を受けながら一人暮らしを続ける当事者として、リアルな言葉でこたえていました。

私はこういった活動へ参加するのは初めてでしたが、自分たちの身近にある社会問題が世間あまり周知されていないと感じるきっかけになりました。

これからも一緒に活動 continue、仲間たちのより良い暮らしの実現に少しでも貢献できたらと思います。

(鈴木里帆)



みなとホーム 冬のホーム交流会をたのしむ

2025年12月20日(土)に、あしたの家の2階食堂をお借りしてクリスマス会をおこないました。

30人ほどの参加希望があり、午前と午後に分かれての企画となりました。企画内容は仲間のアンケートをもとに職員で考え、「みんなで楽しめる企画がいい」、「クリスマスらしさがほしい」とアイデアを出しあいました。当日は赤組・緑組に分かれて玉入れを行ない、ベルを鳴らしながらジングルベルと赤鼻のトナカイを歌いました。玉入れでは狙いを定める人、とにかく投げる人、ずっと握りしめている人、立ち上がってかごに近づいていく人といろいろで、とても面白かったです。最後はベルを使って合奏をしました。それぞれしっかりベルを奏でることができていました。

帰りには、一つひとつ包装をしていただいたケーキを持ち帰りました。もらってすぐ嬉しそうに眺めながら傾けてしまう人もいましたが、それも思い出かなと思います。喜んでもらえてよかったです。

皆様のご協力のおかげで、無事に交流会を終えることができました。今後も職員や仲間のみなさんと季節のイベントを楽しんでいけたらと思います。メリークリスマス♪



能登半島被災地支援の報告

能登半島地震の発生から2年が経過しましたが、私たちもできる限りの支援をつづけています。今回は、11月と12月に支援に入ったふたりからの報告です。

震災からもうすぐ2年。ある程度、修繕や復興は進んでいるのだろうと思っていましたが、実際に行ってみて被害の大きさを実感しました。今回、支援させていただいた一互一笑さんという事業所は、まるで部屋にいるような空間で、とても落ち着いた心地の良い空間でした。しかし、震災の爪痕はしっかり残されており、壁が剥がれ落ちてしまいの骨組みがむき出しになっているなど実際に受けた被害を肌で感じる事ができました。

そんな中でもみんな笑顔で活動されていて、とても感動しました。一日でも早く復興してほしいと心から思いました。

(黒田雅敬)



震災後の能登では、時間がたった今

でも生活の再建が進みにくい現状が続いていました。支援に入った事業所では慢性的な人手不足の中、仲間の生活を守るために限られた体制で業務を維持しており、移動を妨げる悪路も支援の大きな壁となっていました。また仮設住宅からの転居が始まる一方、住宅建築の費用負担が重く、地域を離れる仲間や職員がいる現状もみられました。

現地で現実を知り、今後の支援の在り方を考える必要性を強く感じました。これからも自分に何ができるかを考え続けたいと思います。(中野晃大)



編集後記

皆様、新年明けましておめでとうございます。

明日をつむぐも「新春号」が始まりました。私が特に気に入っている記事は、2026年のわたしたちの目標です。各事業所に『あいいうえお作文』を用いて今年の目標を立てていただきました。どの事業所も明るい目標を立てていて、新年から温かい気持ちになりました。各事業所が掲げた目標を達成できるよう今年も仲間と共に協力していきましょう。

また、今年は午年となり、干支で言う午は行動力やスピードなど、パワフルなエネルギーで溢れる年になると言われています。他にも、午は陽(火)を表し、勢いがあり勇敢で独立心があるのが特徴で、道を切り開くと言った良さも持ち合わせています。そんな縁起の良い午年に新たな気持ちで駆け抜けてみませんか。

(山本由貴)

イルカ作業所 南陽イオンさんとクリスマス会

昨年12月イオン南陽店さんとクリスマス会をしました。会が近づくと、作業所内をクリスマスの飾りつけでムードを出して気分を盛り上げていきました。当日はクリスマスソングを歌い、生クリームやフルーツなどでデコレーションをしてオリジナルのクリスマスケーキを作りました。そして、サンタクロースが登場すると仲間のみんなは笑顔で迎え、プレゼントをいただくと、大喜びでした。イオン南陽店さん、ありがとうございました。



ともに育つ会 ニュース



港区障害者(児)とともに育つ会
〒455-0803 港区入場1-114-1
TEL (052) 355-8000

2026年  新春号

港区懇談会

1月15日(木)に24回目となる港区との懇談会をおこないました。当日は、地域力推進室、総務課、福祉課、港土木事務所の皆様の出席をいただきました。ともに育つ会からは、利

用者、家族、職員あわせ17名が参加しました。

今回は、国への要望、名古屋市への要望、港区への要望、防災に関する要望の項目で32の要望を掲げましたが、当日は主に港区の職員さんたちに伝えたい事項を中心に懇談しました。

内容としては、障害のある利用者から「外出のためにヘルパーさ



んをおねがいしても、ヘルパーさんが見つからないからと断られることがあるので、ヘルパーさんを増やしてほしい」「お店に入るのにスロープや手すりがないと入れないこともあるので、ちゃんと付けてほしい」など自分の生活の中からのねがいを伝えました。

街づくりに関しても、バス停や公園のトイレの写真を示してバス停の屋根やベンチの設置、公園に多い和式のトイレから、誰もが使いやすいようにバリアフリートイレの設置をもとめました。

不安や心配の尽きない防災に関しては、発災時に福祉避難所として機能できるよう事前に行政の方との打ち合わせや体験の機会などについてのおねがいや、大災害のために避難所として機能できなくなり、生活を継続することが困難になった場合の広域避難の方法についても要望しました。



障害のある方を理解する研修会の報告

「みんなであつながりをもとう！ともに生きるまちを」のテーマで12月4日に、港区文化小劇場でおこなわれました。(主催：港区障害者自立支援連絡協議会)

今年の9月に「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会」が開催されることからパラアスリートの方たちのパラスポーツとの出会いをお話していただきました。

陸上競技のパラアスリートである自閉症の娘さんのお母さんからは、療育の先生のアドバイスを受け「毎日のマラソンと一品の料理づくり」をはじめようと決意し、ここまで毎日継続してきたことで娘さんも自信をつけ、今日の姿につながっていると話されたのが印象的でした。

今秋のパラリンピックへの関心が、更に高まる研修会でした。

「障害者週間記念のつどい」が開催されました

去る12月7日(日)名古屋市中区役所ホールにて開催されました。(主催：名古屋市となごや意識のバリアフリーフェスタ実行委員会)

今回は、NHKのEテレで放送されていた「バリバラ」で司会を務めていた玉木幸則氏とナレーター役の神戸浩氏の番組をふり返りながらのトークがメインの企画でした。

玉木氏は、LGBTQの方や高齢の方、様々な障害のある方など多様な人たちに起きていることをみんなに知ってもらおうと番組をすすめてきたと話されました。生産性や社会に役に立つかどうかで評価するのではなく、誰もが生き延びることに大きな意味があると強調され、12月を人権月間にしたとまとめられました。